

立川市

【児童・生徒数】

12,250 名

【立川市の特色】

多摩地区の交通の要である立川駅周辺は、商業施設等が集積しており、にぎわいを見せています。少し歩けば、国営昭和記念公園の緑が広がり、玉川上水や多摩川が流れる、水と緑に囲まれた生活環境が整っています。



【課題・改善】

- ・児童・生徒が、運動する楽しさを味わえるよう、引き続き、プロスポーツ団体等と連携した取組を推進し、一層の充実を図る。
- ・本取組の中には、一部小学校で実施した取組も含まれている。成果が見られた良い事例を市内小中学校に広げていくことで、児童・生徒の運動への興味・関心を高め、運動習慣の一層の定着を図ることが求められている。

【実態・課題】

- ・「運動やスポーツをすることが好き」という問いに、「好き」「やや好き」と回答する児童・生徒の割合は高い。
- ・「運動やスポーツをどのくらいしているか（体育の授業を除く）」という問いに、「ほとんど毎日」と回答した割合は低く、小学校の市平均は約4割であった。
⇒運動やスポーツに対する児童・生徒の興味・関心を高めるとともに、運動習慣の定着を図る必要がある。

目標

運動をする楽しさを味わい、
運動習慣の定着が図れるよう取組の充実を図る。

【成果】

- ・「運動やスポーツをどのくらいしているか（体育の授業を除く）」という問いに対し、「ほとんど毎日」と回答した児童が5割を越えた学校があり、上昇傾向が見られた。
- ・プロスポーツ選手から指導を受けたり、実際の動きを見たりすることは、児童にとってとても大きな学びになった。教員にとっても学びが多く、指導の工夫によって男女分け隔てなく主体的にボール運動を行う児童の姿が見られた。

【取組】

- 地域のプロスポーツ団体（バスケットボール・フットサル）と連携した取組
- ・市立小学校の体育の授業において、外部講師による訪問授業等を実施
- 放課後や家庭等で運動に親しむ取組
- ・タブレット端末を活用して運動遊びの動画や画像等を紹介
- 体育科における授業改善の取組
- ・市内小学校教員向けの実技研修を実施
- ・教科担任制による専門的指導の充実

【取組（詳細）】

○ 地域のプロスポーツ団体と連携した取組



立川アスレチック FC
（フットサル）



立川ダイス
（バスケットボール）

地域のプロスポーツ団体と連携し、希望する学校において、訪問授業等を実施している。

プロスポーツ選手の動きを間近で見たり、行い方のポイントを教えてもらったり、一緒にプレーしたりすることは、児童・生徒の運動に対する興味・関心を高めることにつながった。

○ 放課後や家庭等で運動に親しむ取組

児童のタブレット端末に、動画や画像を配信することで、放課後や家庭でも運動に親しめるようにした。休み時間や放課後に友達と存分に遊ぶ姿が見られた。



○ 体育科における授業改善の取組



立川アスレチック FC による教員向け実技研修

地域のプロスポーツ団体と連携し、教員向けの実技研修会を実施した。

授業で活用できるボール慣れの運動やボール操作のポイント、コート等のルール設定など、ボール運動の指導技術を高める機会となった。